

あじえんだ 秋

1999

第1号

1999年11月15日発行

京 みやこ

のアジェンダ21フォーラム
ニュースレター



未来に残したい…
京の知恵

京の町家

「贅沢な現代」の眼からは
この町家は欠点をもっている。

だが当時でもそれは覚悟のうえの

「我慢」だったのだ。

我慢することで得られる

もっと大きなもの。

この「正しい」我慢のなかにこそ

我々が失い、

もう一度取り戻そうとしているものが

潜んでいそうだ。

本当のエコライフ、

京都言葉で言えば

「しまじ」はそこにある。

(写真) 住まいに息づく小さな自然「ニワ」

中京区新町六角下ル 吉田邸

* 詳しくは5ページをご覧ください

京のアジェンダ21フォーラム
事務局

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る

上本能寺前町488番地

京都市環境局環境企画部

地球環境政策課内

TEL 075-222-4037

FAX 075-222-4039

何をめざすのか？ 京の「アジェンダ」は

みやこ

内藤 正明

京都大学大学院工学研究科教授、専門は環境地球工学。京のアジェンダ21フォーラム代表。廃水処理システムの計画、地球制約下でのエコ技術・都市・倫理、などの研究、著作も多い。



アジェンダを語る MIYAKO no Agenda21

アジェンダとは？

1992年ブラジルのリオデジャネイロで開催された地球サミット(環境と開発に関する国連会議)で、持続可能な発展のためにこれから取り組むべき課題が挙げられました。それが「アジェンダ21」です。アジェンダ21は、地球環境問題、中でも特に気候変動に対してこれから取り組むべきことを提示しています。

アジェンダ21では、市民、事業者、行政が対等な立場でパートナーシップを築き、持続可能な社会を創るという共通の目的を目指していくことを求めています。また、ローカルアジェンダ21の策定が、その取り組みを世界の自治体が行うことを要請しました。京都でも「京のアジェンダ21」が策定され、その実現のために市民・行政・事業者からなる「京のアジェンダ21フォーラム」が立ち上げられました。

いったいこのフォーラムは何をやる場所なのか、何ができるのかを探るため、京のアジェンダ21フォーラム代表の内藤正明京都大学教授の研究室におじゃましました。

どうしてアジェンダフォーラムを立ち上げるようになったのですか？

1つはCOP3が開催の地元だという意気込みからでた高い目標のために、思いきった事をする必要があったという事でしょう。京都市は、二酸化炭素の排出量を2010年までに、1990年レベルの90%にまで低減するという目標を定めました。画期的な目標ですが、技術革新による燃費の向上とか、みんなで省エネといったことは大前提として、それだけでは達成できない数値です。その実現には市民・行政・事業者の枠を越えた力が必要と考えられました。

2つ目はやはり市民参加の盛り上がりがありました。アジェンダフォーラムは検討会からすべて公開でおこなっており、それはさらに京都市の委員会の公開も加速した様です。市民側には当事者意識がでてきたし、行政側もはじめは戸惑っていましたが、市民主導で大丈夫だとい

うことがわかり、双方に変化が出て来ていると思います。

いままで何がちがうのですか？

京のアジェンダは、市民が主体となって動いています。ほとんどすべての会議や委員会が公開で行われています。計画を策定する段階から市民に100%、場合によっては市民以外にも門戸を開いています。フォーラムに関して、市民主導で立ち上げました。行政は情報を流したり、予算をつけたりと、行政の得意分野である部分を担当したり、市民がうごくためのバックアップをしています。市民・行政・事業者がお互いに対等な立場で参加していますね。このパートナーシップが大切です。事業活動も環境を前面に出さないとやっていけなくなってきていますし、今後は経済活動にもプラスになるような仕組みをつくっていきたいですね。

京のアジェンダ21 5つのシナリオ



省エネルギー・省資源のシステムづくり
自然エネルギーの活用や、容器などの再利用によるゴミの削減、エネルギー効率の向上をめざす。



グリーン・エコノミック・ネットワークづくり
消費者、小売業者、メーカーが情報を交換し、環境によい商品が優先的に流通するシステムをつくる。



エコロジー型新産業システムづくり
環境と経済の両立のために、廃棄物を有効利用しあえるネットワークをつくる。環境を考えた新しい産業を創出する。



エコツーリズム（環境調和型観光）都市づくり
京都の文化や景観を守り、旅のサービスの質を高め、旅行者にとって魅力ある街にしていこう。



環境にやさしい交通体系の創出
クルマに依存する交通体系を改め、公共交通や自転車、歩行者優先の街をつくる。

ズバリ京のアジェンダの可能性は？

フォーラムが立ち上げられたことで、京都を変えていこうという人が力をあわせる場所ができました。アジェンダフォーラムは市民が日頃から考えていること、提案などを集め、行動につなげる基地です。いままでは思いや危機意識があってもごく一部の行動力のある人しか具体的な行動にはできなかった。これからはフォーラムで皆が意見を出しあってシナリオを書き上げ、実行に移していくことができます。例えばタクシー会社と交渉してアイドリングストップを上げたりできるかもしれません。市街電車でも走り出したら「やった！」という感じですよ。そのうち若い人の力で大学でも動きがあるんじゃないかと期待しています。

京都の市民が環境と共生できる地域づくりに参加すればすごく変わるのではないかと思います。そして、

京都くらいの規模の都市でこれが成功すれば、日本全体が変わっていくと期待しています。こうした試みは小さい都市ではいくつもありますが、京都くらいの規模の都市でというのは他ではみられません。日本中がアジェンダフォーラムが今後どう展開するのか注目しています。

今後どんな展開をみせていくのでしょうか？

アジェンダフォーラムの事務局は当面、梅屋小学校跡に置かれています。そこを中心にしてどんどん広がっていったらいいと思います。いま、託児所をやってほしいという意見があがっていますが、そうすると今度は子供の相手の上手な方に参加してもらうことになる。またそれで1つ輪が広がります。市民がアイデアを出し、パートナーシップを活かして様々なことが実現されていく。いつでも事務局に誰かいて、気軽に意見を持ち込むことができたり

ちょっと声をかけたら何かできるような場になればいいですよね。忙しい人も参加できるのではないのでしょうか。

これを読んでいる方にメッセージをお願いします。

皆の意見を活かせる、フォーラムという受け皿ができました。何かやりたいと思っている人は気軽に梅屋小学校跡に足を運んでみてください。できることがある方は少しでもいいので力を貸して下さい。それぞれができることを少しずつ出し合う、町というのは本来そうやってできているものです。それが京都を変えて日本を変える。そういう可能性がみえてきたと思うのです。幸い風がそっちの方向に吹いていることですし、その風を捉えて帆をはってもらったら、けっこう進むと思いますよ。

(聞き手 佐藤桂子、宮田晃一郎)

環境実験国・スウェーデンの環境まちづくり

ヴェクショー市 ローカルアジェンダ21の活かし方



環境をテーマに学習し実践するボブス小学校

ヨーロッパでは多くの自治体でローカルアジェンダ21に熱心に取組まれています。その様子を昨年スウェーデンを訪問した会員の方から寄稿していただきました。

ローカルアジェンダは有望な「道具」

全ての自治体がローカルアジェンダ21を策定しているスウェーデン。スモランド地方の中核都市、ヴェクショー市は、スウェーデン自然保護協会との連携を通じて、ローカルアジェンダ21を有効に機能させているまちです。「つくった」だけでは全く意味のない、この「有望な道具」を、ヴェクショー市ではどうやって活かしているのでしょうか。

政策の全てにわたって

最も重要な前提条件が行政の中で、ローカルアジェンダ21が行政全般に関係しているという理解が徹底していることです。問題の「アジェンダ21」は従来の「環境部局」の枠をはるかに超え、都市計画はもちろん、交通、工

ネルギー、経済などまちづくり全般に対して提案しています。ヴェクショー市では、行政を総括する執行委員会がローカルアジェンダ21について責任を負い、市の全ての政策に反映しようと努力がなされています。

多様な取り組みで浸透

市民への根つきも大切です。郊外の村落地区では、地区住民全員が参加しての「ローカルアジェンダ21」づくりが行われ、市街地では定期的に円卓会議が開かれています。200社以上の企業が、朝食を摂りながら環境問題への取組みの情報交換をする「環境コーヒー」という時間を共有しています。アジェンダ21青年部では、「若者にアジェンダ21のメッセージを広める」「若者のエコロジカルな行動を奨励する」などを目的として、400人が活躍しています。こうして、ローカルアジェンダ21に対する取組の合意がなされ、その進め方が話し合われます。

環境教育が鍵

環境教育も、ローカルアジェンダ21



木屑を燃料にしている Sandvick コジェネレーション施設（暖房と電力をまちに供給する）



市中心部には自転車道ネットワークが充実

が契機になって非常に進んでいます。職員や政治家に向けた環境教育の成果は、「行政機関において化石燃料ゼロを目指す」という大胆な目標にも見とれます。学校教育の場では、尿尿の肥料化や、学校菜園、調理くずの堆肥化、地域性を活かしたデザインの校舎・家具など、地味ながらも、体験的に循環システムを理解できる学校生活が開かれています。

このように、ヴェクショー市では、市の施策の中でローカルアジェンダ21は上位に位置づけられ、様々なセクターの人々が学び、「環境まちづくり力」をつけています。

幸いなことに、京のアジェンダ21フォーラムでも、ヴェクショー市と同じように円卓会議が開かれ、今後様々な学びと実践の場が提供されるでしょう。京都をエコシティにするという「究極の楽しみ」かもしれないプロセスを大切に、京のアジェンダ21も高いレベルのものにしたいものですね。（吉橋久美子 会員・環境市民エコシティ研究会）

Q 再生紙の「コピー用紙」を探しています。オフィスで使っている再生紙コピー用紙は、業者さんに直接受注しているようですが、個人ではなんとなく注文しにくいんです。京都市内のお店で、手軽に購入することはできませんか？（伏見区 S）

A 家庭用のパソコンが普及し、各家庭でプリンタ用紙などの消費が増えていきますね。でも、再生紙のコピー用紙は取寄せが中心で、あまり店頭では見かけません。

文具メーカーでは、「コクヨ」が古紙100%のコピー用紙を製品化しています。コクヨ製品取扱い文具店で入手可能とのことですので、お近くの文具屋さんにお問い合わせみてはいかがでしょうか。スーパーでは、「西友」が古紙70%のコピー用紙を店舗で扱っています。

さて、ひとくちに古紙といっても、紙の加工工場や印刷所から出る切れ端＝「産業古紙」と、新聞やオフィスで使い古した紙＝「市中回収古紙」とがあります。市中回収古紙の再生紙は、雑多な品種が混ざるので白色度が低く、消費者にあまり受け入れられていません。そのた

めメーカーも積極的に製品化できず、結果として新聞・雑誌などのリサイクルが滞っているのが現状です。「少しくらい茶色くてもいいや」という消費者が増え、市中回収古紙製品の利用が進めば、製品化や店舗販売も進むはずなのですが。

電話注文による配達になりますが、新聞古紙100%のコピー用紙には「中部リサイクル運動市民の会」の「エコペーパー100」などがあります。まずは身近な再生紙製品を手に取り、「だんだんと「どんな古紙からつくられた再生紙か」ということにもこだわっていったらいいですね。

中部リサイクル運動市民の会
電話:052-931-3439
FAX:052-931-0505

このコーナーにご質問をお寄せください。質問は京のアジェンダフォーラム事務局まで。

未来に残したい… 京の知恵

其の壱

京の町家

京町家、暮らしの総見直しの今、圧倒的な美しさで私たちに迫ってくる。自然と会話するための「二ワ」と総吹き抜けの「トオリニワ」空間がつくる、うちそと一体で空気が流れる室内、繊細で清楚な様式、町の景観でもある外観。

しかしこれらをつくり出したものは当時も厳しい街の暮らしからの徹底した簡素、儉約、合理の精神だった。だが、さらにその彼方に様々な「美」を発明した。細い柱でも美しく見える縦横比率の工夫、モノを少なくして暮らすその分建具に凝る。中京ではどの家でも建具の寸法は共通で使い回しができ、いわば循環システムをもっていた。

しかし「贅沢な現代」の眼からはこの町家は欠点をもっている。一階を涼しくするための犠牲で夏の二階は暑い。そして当然冬は全体が寒い。だが当時でもそれは覚悟のうえの「我慢」だったのだ。我慢することで得られるもつと大きなもの、例えば季節の変わりゆく様、都市に暮らす軽やかさ、少ない調度だからこそその物の輝き、等々を求めた。

この「正しい」我慢のなかにこそ我々が失い、もう一度取り戻そうとしているものが潜んでいそうだ。本当のエコライフ、京都言葉で言えば「しまつ」はそこにある。

恩地惇

（会員、環境デザイナー）

・G K 京都取締役社長）



夏を涼しくする風の道「トオリニワ」
撮影者 大島勝寛
（上京区葎屋町通上長者上ル 吉原邸）

ワーキンググループからの報告

各ワーキンググループ(WG)から報告とお知らせです。

みんなで考え、無理なくひろがる持続可能な生活様式
京都に住む人々が自ら、環境をまもることが出来るライフスタイル」に変えるために、ライフスタイルワーキンググループは活動し、連携と協働の輪をひろげていきたいと考えています。当初の活動として、フォーラムの個人会員と団体会員のメンバーを対象に「環境家計簿」や「グリーンコンシューマー」のワークショップ(参加型の学習会)を行い徐々にその対象を広げていく予定です。同時に、だれがどのような活動プログラムや支援を必要として、どのような効果的な活動がすでに行われているのかを把握するための調査を行う予定です。この調査結果を踏まえて、さらにワークショップの内容や情報提供の方策を向上させ、より多くの人々に触れていただくことを目指します。そのためには、可能な限り多くの人の参加と協力が必要です。身近な人や組織、その周辺の人々、あるいはこれまで対立関係にあった人たちとも、これからのライフスタイルについての考え方や意見を交換することを始めませんか。すでに環境を大切にする生活様式を実践し、持続可能な新しい時代を迎えることのできる人々も増えつつあります。このような考え方や生活様式の実践を無理なく一般化していくにはどうすればよいのでしょうか。このワーキンググループを多くの方々の出会いと交流の場とし、一緒に考えていきましょう。

田浦健朗(ライフスタイルWG コーディネーター)

気候ネットワーク事務局長)

ライフスタイルワーキンググループ

企業活動ワーキンググループ

「企業活動ワーキンググループ」では、「持続可能な発展」の実現に向けて「環境配慮と経済発展の両立」の具体的施策を検討しています。

このためには、まず「事業活動やその製品が環境に与える負荷ができるだけ小さい(このことを「環境にやさしい」という言葉で表現します)こと」が要求されますが、同時に「事業者への支援」も重要なポイントになります。

そこで当面の活動として、「環境にやさしい」製品を、またそのような活動を行っている企業から優先的に購入する企業や市民団体の集まりである「グリーン購入ネットワーク」を確立する活動を推進して行きたいと考えています。

「グリーン購入」の先輩「欧米」では、まず消費者が「環境にやさしい」製品・企業から積極的に購入する活動を展開したため、企業も「環境にやさしい製品は売れる」という発想を強め、それが相乗的な効果をあげ「グリーン購入」制度が定着しつつあるとされています。

一方事業者は「環境にやさしい企業活動・製品作り」を進めるための「基準は何か」を明確にすることが必要です。それには国際規格である「ISO14001」の認証取得が最もわかりやすい方法です。そこで、その認証取得を推奨し、認証取得のための支援(技術的・経済的)も考えています。しかしながら、中小の企業や商店の皆さんには「ISO14001」の認証取得は人的・経済的負担が大きく、またなかなか「馴染めない」ということもあります。そこでこれらの事業者には当面「京のアジェンダ21フォーラム」で検討した一定の基準(仮に、これを「京都スタンダード」とよぶことにして)を作り、それをクリアしていただいた企業やお店の製品や商品を「環境にやさしい」と認め、「グリーン購入」の対象としてみんなで積極的に購入する活動を推進していくことによって、「環境にやさしい」企業やお店に「元気を出していただく仕組みを作りたいと考えています。あらゆる分野の人たちが「パートナーシップ」によって「環境都市・京都」を築き上げるため、「企業活動ワーキンググループ」にあなただけもぜひ参加してください!

津村昭夫(企業活動WG コーディネーター)

(社)京都工業会環境委員会委員長・日本電池株式会社環境管理室副室長)

エコツーリズム ワーキンググループ

「エコロジー度調査員 大募集!!」

環境に配慮した京都観光を考えるべく、京都観光のエコロジー度の実態調査をしたいと考えています。そこでまずは宿泊施設を対象に、12月はじめに調査を実施する予定。また、何を調査し、どう評価するかについてもこれからまだまだ詰めていきます。エコロジー度調査について共に考えて下さる方、12月の調査に協力して下さい方、大募集です！ 待ってます!!

申し込み・問い合わせは事務局まで。

水野篤夫（エコツーリズムWG コーディネーター）

（財）京都ユースホテル協会 統括部長

長い議論を重ねてきた「エコツーリズムWG」もそろそろ、具体的な実践に入る準備ができてきました。2月にアーバン・エコツーリズム」を研究協議するシンポジウムも開きます。京都観光のエコロジー度を調査するチーム、モデルプランの試行を目指すチームがそれぞれ若いリーダーに引継がれつつ活動を始めています。なかなか楽しみな展開ですが、調査にもプラン実施にも、フォーラム準備にも、もっと多くの人に加わってもらうことが必要です。アジェンダの会員の皆さん、お近くの方を誘ってぜひ「京都のまちづくり」に参加してください。

ワーキンググループの会議は、当日参加OK、メンバー随時募集中ですので、どうぞ遠慮なくいらして下さい!

イベント情報

共催予定

予告

スウェーデン・環境まちづくりの挑戦

ローカルアジェンダ21とパートナーシップ

日時 12月5日(日) 午後1時～5時

場所 京都商工会議所 講堂

(烏丸夷川上ル 地下鉄烏丸線「丸太町」下車)

【シンポジウム】(参加費:1,000円)

- (1)イントロダクション:持続可能な社会をめざす
スウェーデンの挑戦
- (2)基調報告:ヴェクショー市の環境都市づくりの戦略
- (3)報告1:ヴェクショー市はローカルアジェンダ21をどのように進めているか
- (4)報告2:ローカルアジェンダ21に基づいたスウェーデン自然保護協会と自治体のパートナーシップ
- (5)対談ディスカッション

ゲスト

- ・カール・オルフ・ベンクトソン氏
(ヴェクショー市長、ローカルアジェンダ21最高責任者)
- ・サラ・ニルソン氏
(ヴェクショー市アジェンダ21オフィスコーディネーター)
- ・エヴァ・リンドベルク氏
(スウェーデン自然保護協会国際担当コーディネーター)

エコツーリズム都市京都シンポジウム(予定)

日時 2月10日(木) 午後1時30分～6時30分

場所 ウイングス京都 イベントホール他

(東洞院通六角下ル 地下鉄烏丸線「四条」下車)

【基調講演】 午後1時30分～午後2時30分

テーマ「これからのエコツーリズム都市・京都」
講師:未定

【事例発表・他都市報告】 午後2時30分～午後3時30分

テーマ1「まちづくりと観光・環境」

テーマ2「交通問題」

テーマ3「修学旅行を考える」

テーマ4「旅館・ホテルのエコ化」

他都市報告 発表者は未定です。

【分科会】 午後3時30分～午後5時30分

事例発表者及び他都市報告者を囲んで意見交換

【全体報告】 午後5時45分～午後6時30分

分科会からの報告と総括

【情報交換と交流会】(任意) 午後7時～

翌11日(祝)は、フィールドワークショップやプログラム体験も企画中です



第1回

渡辺 さおり さん

(食と育児・環境を考えるサークル「Leaves」世話人)



写真：山口洋典

待ち人来る、ではなく「ひと・まち・きたる」
京のアジェンダ21フォーラムの会員で、積極的に活動
されている方を紹介していきます。

渡辺 さおりさん：愛知県出身、京都市伏見区在住。1998年1月に、「幼児の食生活を考える会」を発足。
その後、今年8月に「Leaves」を立ち上げる。3才の女の子のお母さん。

8月に、「Leaves」というグループを発足された (左下から)
そうですね。

子どもの食生活と環境問題について、それぞれの
「想い」「悩み」「アイデア」を持ち寄り月に一度の
交流会をしていこうということで、まずは11人の主
婦が集まりました。

「Leaves」を立ち上げたきっかけは？

学生時代に食品・栄養学を専攻していたのですが、
私自身の出産・育児をきっかけに、子どもの食生活と
環境への関心が大きくなりました。しかし、既存の
育児グループはほとんど環境問題には取り組んで
いないようだったので、昨年「幼児の食生活を
考える会」というグループを立ち上げました。そこ
では、ダイオキシンや環境ホルモン、遺伝子組み換
え食品などについての学習会や、子どものおやつ
の調理実習などを行ってきたのですが、「Leaves」は、
もっと気軽に参加できる情報交流の場にしたいと
思っています。

たしかに、子育て中のお母さんの意識が変わること
は、子どもの健康や家族のくらしを変える大きな一
歩ですよ。

はい。しかし、仲間からは、「環境について問題
(右上へ)

意識を持ちながらも、それを話す場がない」「市民
団体や環境NGOの学習会は、専門性が高く、託児
もないので参加しにくい」といった声が聞かれま
す。そこで、「Leaves」を、子連れで気軽に参加でき
る「環境問題・語らいの広場」にしたいと考えてい
ます。

今後の活動は？

10月18日(月)に、「食物アレルギー」をテーマ
に活動交流会を行います。以降、11月は「幼児食」、
12月は「ダイオキシン、環境ホルモン」というテーマ
を予定しています。

このフォーラムに何か提言をどうぞ。

そうですね。やはり、「託児」の機会を多くして
欲しいと思います。子どもを抱える私たちにとっ
て、学習会に託児がないことは大きな悩みの種なん
です。そういうところから、主婦が環境について学
び、「台所から環境を考える」機会を多くして欲し
いと思います。

どうもありがとうございました。

「Leaves」の活動交流会などについては、075-573-3944(渡辺
さん)へお問い合わせ下さい。

京のアジェンダフォーラム入会のご案内

【年間会費】

一口1,000円を単位として、会員ごとに次の口数分とします。

(1)個人会員 1口 (2)団体会員 2口以上

*会費は郵便振替または銀行振込をご利用ください。

郵便振替口座：00960-7-143508

京のアジェンダ21フォーラム

銀行振込口座：三和銀行京都支店 普通 5468383

京のアジェンダ21フォーラム

【会員の特典】

ニュースレター・各種案内資料の無料送付、ワーキンググル
ープへの参加、主催行事への参加など

みやこ

京のアジェンダ21フォーラムニュースレター 1999年秋(第1号)

発行：京のアジェンダ21フォーラム事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前町488番地

京都市環境局環境企画部地球環境政策課内

TEL. 075-222-4037 FAX. 075-222-4039

E-mail. ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

企画：同フォーラム広報・会員担当タスクチーム

編集：佐藤 桂子・竹花 由紀子・宮田 晃一郎

アートディレクター：藤本 芳一・山口 洋典

このニュースレターは古紙100%の再生紙に大豆油インクを使用しています。